

内閣総理大臣杯争奪
第35回記念日本車椅子バスケットボール選手権大会
個人トータル表

2006年4月29日 18時40分開始

3回戦

東京体育館 A - 5

NO EXCUSE 57
(東京)

9 1クォーター 21
17 2クォーター 20
10 3クォーター 17
21 4クォーター 13

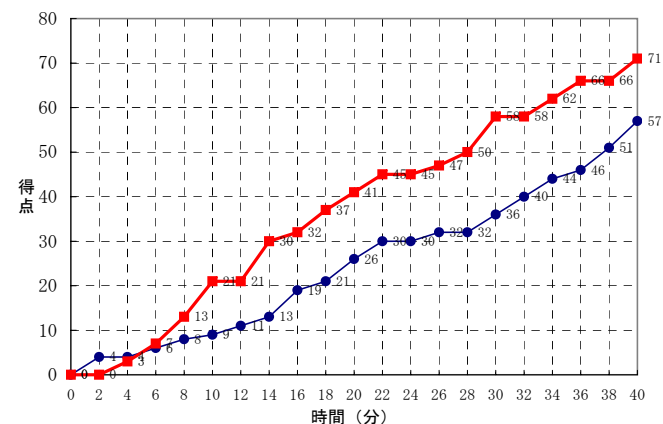
71
ワールドBBC
(東海北陸)

番号	氏名(持ち点)	得点	3P	2P	FT	RB	AT	反則	番号	氏名(持ち点)	得点	3P	2P	FT	RB	AT	反則
* 4	佐藤 聡 (1)	8	0	3	2	-	-	5	4	林 秀則 (1)	0	0	0	0	-	-	1
* 5	堀江 航 (4.5)	7	0	3	1	-	-	4	* 5	加藤 和徳 (3.0)	16	0	6	4	-	-	3
6	八木沼 辰弥 (3)	-	-	-	-	-	-	-	6	神谷 泰範 (2.0)	2	0	1	0	-	-	2
* 7	寺田 正晴 (3)	2	0	1	0	-	-	2	7	小崎 政一郎 (2.5)	0	0	0	0	-	-	-
8	野口 裕二 (3)	-	-	-	-	-	-	-	* 8	長谷川 康之 (2.0)	6	0	2	2	-	-	1
9	植木 敏也 (1)	-	-	-	-	-	-	-	9	竹中 久雄 (2.0)	2	0	1	0	-	-	1
10	小山 文律 (4.5)	20	0	10	0	-	-	3	10	加藤 直生 (1.5)	4	0	2	0	-	-	-
11	Razic Michael (1)	0	0	0	0	-	-	-	* 12	白丸 文明 (3.5)	14	0	7	0	-	-	3
* 12	菅澤 隆雄 (4.5)	13	1	4	2	-	-	4	* 14	杉浦 寿信 (1.0)	0	0	0	0	-	-	4
13	及川 晋平 (4.5)	5	1	1	0	-	-	5	* 15	大島 朋彦 (4.0)	15	0	5	5	-	-	1
14	吉川 和博 (4.5)	-	-	-	-	-	-	-	16	辰巳 晃一 (3.5)	12	0	6	0	-	-	2
* 15	神村 浩平 (1)	2	0	1	0	-	-	3									
16	佐藤 大輔 (3)	-	-	-	-	-	-	-									
17	山野辺 鉄男 (1)	-	-	-	-	-	-	-									
		-	-	-	-	-	-	-									
コーチ	辻 秀一								コーチ	小川 智樹							
Aコーチ	東野 智弥								Aコーチ	斉藤 伸明							
マネージャー	濱崎 圭祐								マネージャー	森 祐美子							
マネージャー	依田 有里恵								マネージャー	寺島 悦子							
マネージャー	杉山 美穂								マネージャー	西俣 奈月							
合計		57	2	23	5	0	0	26	合計		71	0	30	11	0	0	18

主審：菅野 英輔
副審：新井 優二
副審：久保田 一男

得点経過

● NO EXCUSE ■ ワールドBBC



〔戦評〕

昨年準優勝のワールドと優勝した千葉ホークスに善戦したNOEXの戦い。接戦が期待できそう。

1Q：先制はNOEX⑩のミドルが1分過ぎに決まる。さらに速いパス回しから⑫がフィニッシュ。ワールドも攻めるがわずかにシュートの正確さを欠くが3分⑧のミドルシュートで2点を返し2-4。予想通り一進一退の攻防。両チームもスピードがある動きで迫力がある戦い。ワールドはフリースローで1点差につめたあと4分過ぎ⑫が正面に切り込み逆転のシュート。しかしNOEXもすぐに⑤のシュートで逆転するがワールドが逆転。コート全体でスピードがある戦いが繰り広げられ目の離せない展開になる。6分を過ぎるとワールドのボールキープがわずかに多くなりシュートも連続して決まる。NOEXも何とか食いつかるが大事なところでミスミスも出て残り1分ついに11点差。NOEXも⑩のフリースローで点を返すがワールドも点を追加して21-9とワールドのリードで1Qを終了。

2Q：2分過ぎまで双方の攻め合い、NOEXが⑩のミドルで加点。しかしワールドもゴール下⑮への速いパスを通し点を追加。⑩も鋭いゴール下への切込みを見せ、さらに点を加える。NOEXは個々のスピードでは勝っているが、フィニッシュの正確さが少し欠けている分劣勢となる。3分半過ぎワールドは速いディフェンスからNOEXのミスを誘いさらに得点追加。NOEX返すが差を詰めるには至らず。クォーター後半は五五分の動きだがNOEXにややファールが目立つようになる。最終的にはNOEX 26-ワールド 41で前半終了動きにはそれほど大きな差はないと見えるがシュートの精度のわずかな差がこの点差になった印象。

3Q：ワールドのスローインで後半開始。すぐに⑤のミドルで追加点。NOEXも④がゴール下に切り込み応酬するさらに⑩も決め30点目。けれどもワールドもすぐに返す。NOEXは⑩を軸に速いパスで攻めるが相変わらずシュートの正確さが今ひとつ。ワールドはシュート回数は少ないが確実に決めている。特に⑮を上手くフリーにする攻撃が効果的。7分45秒ワールドは⑤のフリースローが決まり50点。残り2分をすぎても⑩⑫⑧⑤としっかりシュートを決め、NOEX 36-58ワールドで3Qを終える。

4Q：4QはNOEXが⑩のシュートで加点。1分半過ぎに⑩も決めるがワールドも⑫が見事なミドル。さらにNOEX⑩、ワールド⑮が共にゴール下で決め、点の取り合いになる。3分半近くNOEXはルーズボールの取り合いからパスを回して⑤がシュート。ここきてようやくNOEXのスピードがシュートと結びついてきた感じ。その後は、両チームとも点を加えるこのクォーターは完全に互角。7分にはNOEX⑩の3Pシュートも決まる。NOEXは④がフリースローが2本、⑮の角度が無いところからのシュート、⑫の3Pシュートで終盤はワールドを上回っていたほど。最後は71-57でワールドの勝利となったが力の差はそれほど感じられず、NOEXとしては前半にシュートが決まっていればという惜しい試合になった。

(文責：米澄和孝)